

目標が有るのか無いのかダイビング

20歳後半から、NHKのテレビ番組で度々取り上げられる海の営みにあこがれていました。しかし中々始める機会が有りませんでした。2002年にスキューバダイビングを健康の為に始めました。43歳です。取りたてたログ（記録）の目標は無く、50本・100本と順調に本数を重ねる事は当初出来ませんでした。コンスタントに海に出かける様になったのは父が亡くなってからです。

43歳の5月に日本海の越前海岸に初ダイビングに出かけ、オープンウォーターのライセンスを取得しました。しかしそれから2ヶ月後に亡き父の病（すい臓がん）が見つかり、ダイビングどころではなくなりました。そして父の死後3ヶ月が経過した翌年の6月にアドバンスウォーターのライセンスを取得しました。

そこからは毎年夏・冬を通して年間20ダイブを10年間続けました。しかし55歳を過ぎると、夏場は良いのですが、冬場のダイブは苦痛になりました。

内地では夏より冬の方が、水温が低いので透明度は抜群です。特に串本沖の2月のダイビングは水温14度位、気温10度位で、透明度は外洋ポイントなら30メートル近いです。大物の磯マグロに出会うこともありますが、海から上がってくると気温が低い為に服を下に着こむドライスーツでも寒くてダメです。

そんなダイビングの楽しみ方を変えたのが55歳です。主なダイビングポイントを沖縄本島・石垣島・宮古島・久米島の4島に移しました。内地と違って5月のゴールデンウィークとお盆休みしか遠征は出来ません。従って200本を超えて300本までに7年の時間を費やしました。

そんな最近のダイビングですが、ここ最近3年は次男と一緒に泳ぐようにしています。これが61歳のおじいの一歩の楽しみです。

何時頃400本まで到達するかは解りませんが、70歳までは現役でダイビングを続けたいと思っています。



やっと部分復旧しました





大工さんがいない為に復旧工事が全く進んでいません。

現場事務所の復旧工事は6月3日から工事を始めます。



解体工事だけ終わっている現場事務所跡



仮の現場事務所

2018年9月4日に大阪を襲った台風21号の甚大な被害は『関西空港にも悪影響を及ぼしました』 服部商店も大被害を受けました。そして7ヶ月が経過した4月末ようやく、部分的に復旧いたしました。

被害を被った当初は2ヶ月有れば、復旧すると思っていましたが、3倍以上の期間を費やしても終わらないのです。

もう少しで東京オリンピック関係の工事は終わりそうですが、日本全国で建設ラッシュです。ゴールデンウィークに出かけてきた沖縄も例外では有りません。離島でもリゾート開発が進んでいます。新聞紙上をにぎわせた宮古島の地価が500倍になった現場も見てきました。

インバウンドの外国人をターゲットにした大手3大不動産会社から大手住宅目メーカー・中堅住宅メーカー等が競って開発に参加している状況を肌で感じてくると、もはや建設関係は完全なバブルです。

北海道から沖縄まで日本全国建設ラッシュが当分続きそうです。しかし昨年の台風24号で我々は未曾有の将来不安を感じたのですが、全く我々に材木屋に打つ手はないと思わざるをないとも、今回の服部家のゴールデンウィークの休日（4月28日～5月4日・6泊7日）で感じました。

4月28日～3泊は宮古島の東急リゾートで宿泊しました。5月1日～3泊は石垣グランビアと言うリゾートのコテージタイプのホテルに宿泊しました。

東急リゾートは少し前のリゾートの為か解りませんが、無垢と突板はある程度使用されました。しかしながら最近建てた石垣のグランビア（親会社のホテルはルートイン）は一見した見た目は良いのですが、無垢どころか突板も使われていません。全てシートです。今流行のブラックウォールナット風です。

しかしこのシートが使われている状況が先々改善される事は100%無いと、この休日に感じました。

日本全国職人さん不足は解決していません。例えば大工と言う職業はカンナが持てないとやっていけません。しかし日本全国の建設を支える職人がいますか？現状無理です。職人さんが足りません。皆様はどう思われますか。カンナが持てないのは仕方がない、しかし工期が決まっている以上、建設の最後は木工事です。その作業手間を抜かない事には進まないと考え、無垢は使いにくい状況だと思います。

無垢材の在庫が豊富にあるから使って欲しいと発信しても無理です。

品質・価格・情報が、正しく開示されていない状況で使えますか？

もちろん買って欲しいから、服部商店は価格から産地まで正しく表示していますが、それだけでは有りません。これから日本に押し寄せてくる外国人の建築関係の設計に携わる方は、正しく表示した業者とそうでない業者のどちらを選択するのでしょうか。

他業者はどう考え、どう行動するのかは解りませんが、服部商店と服部雅章は新しい考え方で、本当に消費者の信頼を得られる材木屋になります。

服部商店は全ての在庫をオープンにしています。しかしその価格より安く持っていく同業者がいると聞いていますが、木材って価格だけが、材木屋の採点基準でしょうか。

***バラエティ豊かで豊富な在庫量 *良質材の在庫 *トレーサビリティ *見やすい倉庫
*嘘のない会社**

まだまだ多くのファクターが有ると思いますが服部商店は本当にマーケットから信頼され、愛されて、やっぱり服部は必要だな。と思われる業者を目指します。

同業他社が服部商店の営業の足を引っ張りに来ても、服部新聞をどこかで見て、足を引っ張りに来ても小生はくじけません。

やられたらやり返す。そんなちっぽけな考え方で行動しません。と言うか現状を正しく認識する。そして真実を語る。嘘はつかない。当たり前の事を当たり前にする。それだけです。

余談

台風24号の被害の補修の費用は当初予定した金額『火災保険の補償』で補えると思っていましたが、入っていた保険が悪いのか、入っていた保険会社が悪いのか、それとも入っていた火災保険の金額設定が間違っていたのか、それとも上記3項目全てに問題があったのか、詳細は解りませんが、火災保険の補償では賄える事が出来ませんでした。

500万円こちらの見積もりより低い金額しか支払ってくれませんでした。保険会社の名前は〇〇〇〇同和〇〇保険会社です。現在その保険会社から全ての保険を他社に移行しています。

保険の最高補償額にも到達していないのに支給されませんでした。

こんな理不尽な事が有りました。皆様お気を付けてください。